

第1学年 教科（ 美術 ） 題材名「 思いをのせたモノグラム 」

●題材の目標

- （1）形や色彩が感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージでとらえることを理解する。
- （2）伝える目的や条件などを基に、主題を生み出し、分りやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。
- （3）美術の創造活動の喜びを味わい主体的に作品などの鑑賞活動に取り組もうとしている。

●指導計画（全8時間扱い）

【第1～5時】

- レタリングの役割と基本書体を理解する。
- モノグラムのデザインを考える。アイデアスケッチを基に、描画アプリも併用してデザインの構想を練る。

＜指導の個別化＞

【第6時】

- 7割程度の完成段階で、自分のデザインを振り返る。
- 班の中で制作途中の作品を鑑賞し、互いに助言しあう。
- アドバイスを生かし、作品をよりよく改善し完成させる。モノグラムの作品をシールに印刷して自分の持ち物に貼って使用する。

＜協働的な学び＞

【第7～8時】

- より自分のイメージに近い文字のデザインを創造する。
- 作品を展示し、相互鑑賞から作者の表現の意図や工夫について考え、見方や考え方を広げる。

＜学習の個性化＞

●単元（題材）における個別最適な学びと協働的な学びの具体化

個別最適な学び

＜指導の個別化＞

- ・手書き・描画アプリ（2種類）と、デザインを考えるためのツールを3パターン用意し、自分にあったものを選べるようにする。

＜学習の個性化＞

- ・作品をブラッシュアップし、より自分のイメージに近づける。
- ・レタリングの役割や美しさに気づき、実生活の中で活かしていく。

協働的な学び

＜協働的な学び＞

制作の過程で相互鑑賞を取り入れ、自分の作品について振り返り、客観視するタイミングを作る。お互いのアドバイスを制作の参考にして、改善する。

●個別最適な学びと協働的な学びの学習活動に応じたICTの活用

- ・ Google 描画アプリ
- ・ ドキュメント図形描画
- ・ スクールタクト

ICT端末を活用した「協働的な学習」指導略案

美術科

指導者 橘川 小夜

クラス 1年4組

1. 題材名 「思いをのせたモノグラム」

2. 授業のねらい

- ・描画アプリも活用しながら、伝える目的や条件などを基に、分かりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。
- ・作品の相互鑑賞をおこない、自分の作品を客観的に捉え、改善していく。

3. 指導過程

- ・自分の思いが伝わるにはどのように表現すれば良いか班で鑑賞し、アドバイスをし合う。
- ・文字のデザインに関心を持ち、造形活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組ませる。

学習活動	指導上の工夫・留意点	学習活動の観点 (個別化・個性化・協働)
・自分の作品を準備し、作品に込めたテーマなど発表の最終確認を行う。(5分)	・スライドにまとめてあるか確認させる。	
・スクールタクトで4人グループの班員の作品を鑑賞し、コメントを記入する。(7分) ・班ごとにお互いの作品を鑑賞し、アドバイスをし合う。(10分)	・他の班員の作品の良かった点とアドバイスをコメントに書き込みアドバイスを する。	【協働】 班で作品を鑑賞し、ア ドバイスをし合う。
・アドバイスを基に、自分の作品を更に改善 していく。 ・本時の学習を振り返り、スクールタクトに 記入する。	・本時の学習を振り返り、 テーマを表現できている か、文字の感覚やスペース など美的感覚を働かせて調 整させる。	【学習の個別化】 自分にあったアプリを 活用して、作品制作を する。

4. 参考資料（使うアプリケーションや画面等）等

- ・まなびポケット（スクールタクト）
- ・Chrome描画キャンパス
- ・Google ドキュメント（図形描画ツール）